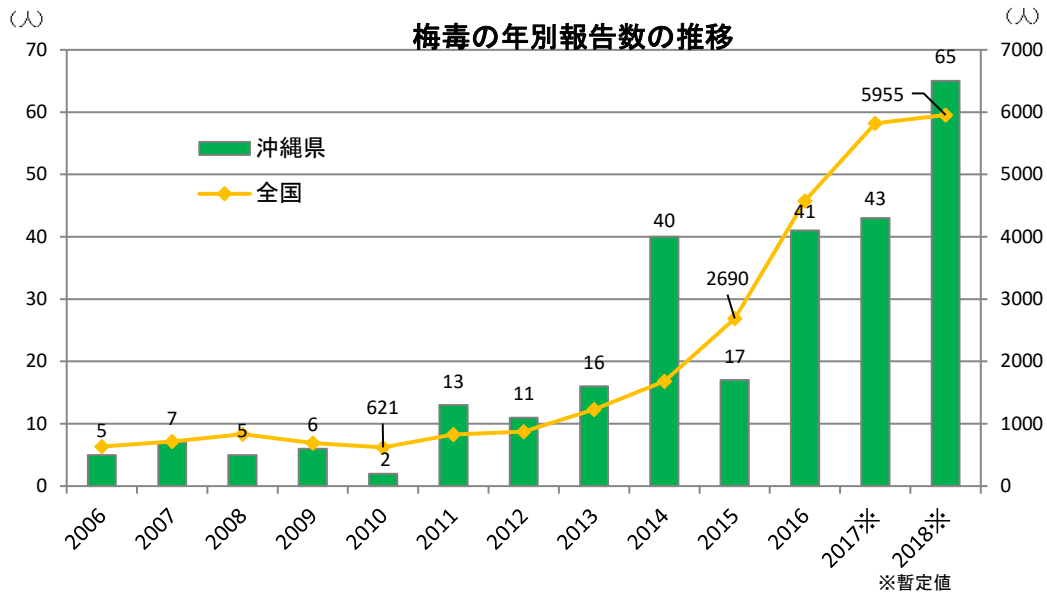


## 梅毒の発生動向（沖縄県：2006年～2018年11月11日（第45週））

### (1) 年別報告数の推移

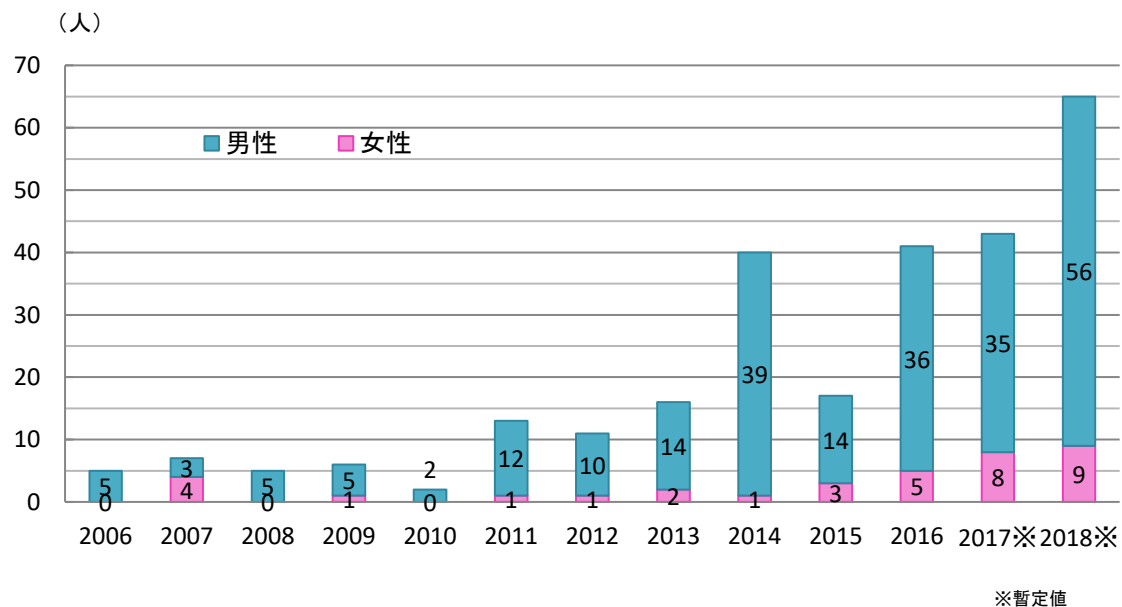
県内の梅毒報告数は、全国同様に増加傾向にあり、2018年は現時点で、現行方法で統計を取り始めた1999年以降最多だった2017年の43人を超え、前年比で約1.5倍の65人となっています。



### (2) 男女別報告数

例年、男性の報告数が多数を占めますが、2015年以降、女性の報告数が増加傾向にあります。

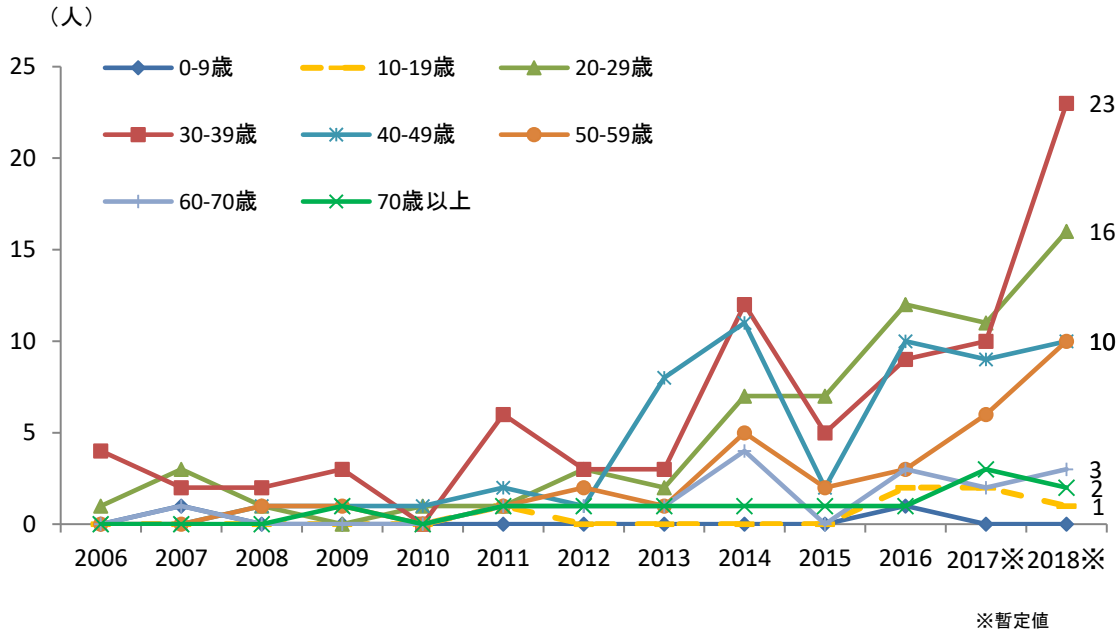
#### 男女別報告数の推移



### (3) 年齢階級別報告数

年代別では、20歳代から40歳代にかけて多くみられます。20～30歳代及び50歳代は近年増加傾向にあります。

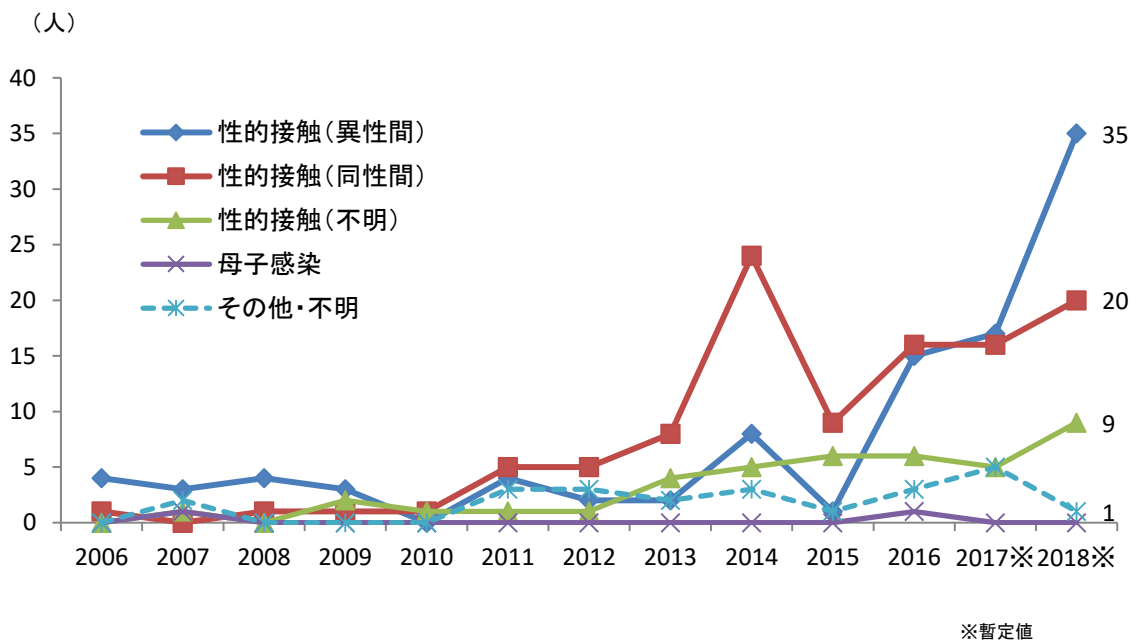
#### 年齢階級別報告数の推移



### (4) 感染経路別報告数

感染経路のほとんどが性的接触ですが、2016年以降、性的接触(異性間)が増加傾向にあります。

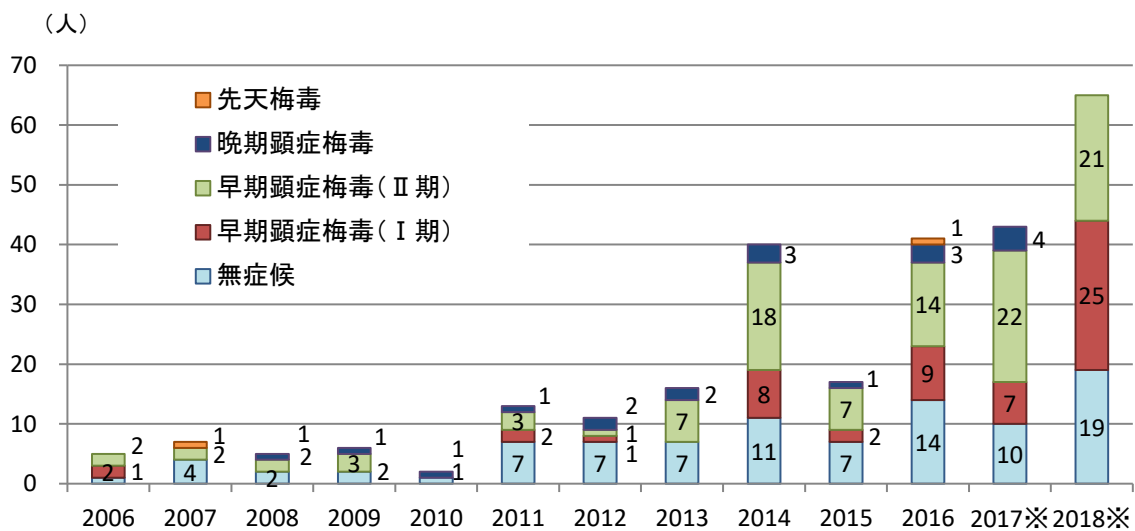
#### 感染経路別報告数の推移



## (5) 症状別報告数

2018年は早期顕症梅毒（Ⅰ・Ⅱ期）で46人を占め、無症候が19人となっています。

### 病型別報告数の推移



※暫定値